



# 西村クリニック便り 第84号



ライン公式アカウント ライン→ホーム→友達追加マーク→QR  
コードで読み込んでください※以前に友達登録していただいた  
方も**再登録**をお願いいたします※ ID 検索 @365decem ※

発行元

西村クリニック

四條畷市楠公 1-14-6

072-862-3001

十二月になつて寒くなり風邪をひく人が増えてきました。一般に発熱、咽頭痛、咳嗽、鼻汁を主訴とする風邪症候群にはウイルス感染と細菌感染の二通りがあり症状だけで見分けるのは困難であり、これを見分けるには血液検査が有効な手段となります。感染の重症度の指標としましては白血球数とCRP値の二つの数字があります。CRP値は感染の強さを表し、白血球数はウイルス感染と細菌感染を区別するのに有効であります。即ちウイルス感染の時はCRP値が増加していても白血球数は増えておらず、細菌感染の時にはCRP値も白血球数も共に増加しているのが一般的であり、これは新型コロナウイルス感染も同様で、新型コロナウイルス感染の場合もCRP値が増加していても白血球数は増えないという結果になるのが普通であります。そしてウイルス感染の時には抗生物質の投与は有効でなく、細菌感染の時には抗生物質の投与はとても有効な手段となるのです。

当院では入院当初からこの白血球とCRP値を測定する機器を備えているのが他院にない特徴であり、例えば発熱が続いたり、三十九度を越える高熱の患者さんが来院されると血液検査と行いCRPの値から感染の強さを測定し、白血球の数値を見てウイルス感染か細菌感染かを判断し、白血球数がかかなり高値で強い細菌感染が疑われる時は抗生物質の点滴を行い、より有効な治療が出来る様にしております。



更にはレントゲン検査と組み合わせる事により肺炎などの診断にも有効であります。実際肺炎になどなっていないかと思っていた人を的確に肺炎の診断を下し、確かな情報を元に病院紹介ができる事にも有用であります。

昨今新型コロナウイルス感染ばかりがクローズアップされておりますが、細菌感染もとても大きなウエートを占める感染症であります。重症の扁桃炎、気管支炎から肺炎に至るケース、尿路感染症、急性虫垂炎など日常で普通に出くわす感染症を見逃すことなく治療すべく、当院では色んな視点から診断できる様に努めている次第であります。

院長 西村 幸

## 年末年始のお知らせ

年内は29日(水)午前診まで新年は4日(火)より  
いつもの診察を行っております

当院ではPCR検査を**公費(無料)**にて行っております また休診日なども結果の連絡をさせていただきますのでご安心ください

※受付に必ず連絡のつく携帯番号などをお伝えください※

当院のホームページが見やすくなりました。更新したページをトピックスとしてトップページに記載させていただいております。四條畷 西村クリニックで検索して是非ご覧になってください。日頃の楽しい院長とホームページでも会ってみてください♡

ホームページに記事を書いてみませんか?記事は随時受付しております。みんなの広場(2)に掲載されます♪

## 編集後記

先日毎年恒例の值業へ行ってきました

毎年行っても楽しいのは

他人とは思えない夕ヌキのお陣のせいでしょうか☺

ここ1ヶ月程前から仔猫が姿を見せるようになりました。さくら猫(去勢避妊した猫)たちも興味津々です。どんな風に過ごしているのか観察しているとさくら猫たちと入れ違いにご飯を食べたり日向ぼっこしています。トイレはさくら猫たちと同じ場所で行い小さい手で砂をかける姿はとても可愛いです。しかしこれからどんどん寒くなるのに体温調整が難しい小さい体で冬を過ごすことが心配です。そこでTOKIさんをお願いすることにしました。TOKIさんはTNRの最後の岩と呼ばれる方です。(心温まるTOKIさんのブログも是非みなさまも読んでみてください tnr.assist.toki) 手作りの捕獲機でどんな難関なTNRも突破して下さいます。仔猫は素の定あつさり保護できました。避妊手術、ワクチン、ノミダニ・マダニ駆除、爪切り、耳掃除、血液検査、初期治療とフルコースを受け何と現在は院長に話かけてもらいながら自宅で2週間の隔離生活をしています。TOKIさんのブログからもわかるようにさくら猫やお外で過ごす猫達は地域の方々やボランティアに支えられ寒い冬を頑張って生きています。猫達を支え守る方々のご尽力にも頭が下がります。仔猫の幸せ story はまた報告します